

共和の郷・おだ

広報 第205号

令和2(2020)年12月1日

自治組織「共和の郷・おだ」、小田地域センター

発行

739-2207 広島県東広島市河内町小田 2182

TEL: 082-438-0166 ホームページ <http://kyouwanosato-oda.com/admin>

E-mail mail@kyouwanosato-oda.com

検索: 共和の郷・おだ

小田城新春登山(1月1日ご案内)

小田城址新春登山をして初日の出を拝みましょう。

(日の出時刻 午前7時16分ごろ)

日時: 令和3年 **1**月**1**日

集合場所: 小田地域センター

集合時間: 午前6時30分

日程: 小田地域センター出発 6:35

小田城着 7:00

◎ 7時16分ごろ 御来光を仰ぐ、(初日の出を拝む)

現地で記念写真撮影 7:20



(自)「共和の郷・おだ」総務企画部長



ありがとうございました。
ご寄付は(自)「共和の郷・おだ」の活動のため、有効に活用させていただきます。

見舞い返し	井上圭三様
香典返し	國原郁子様
香典返し	山脇真一郎様

(自)「共和の郷・おだ」 会長 小早川正治 福祉ふれあい部 部長 西村智基

令和2年度「こころの教育講演会」 12/12 ご案内

河内町 PTA 連合会・青少年育成河内地区民会議
の主催により「心の教育講演会」を開催します。
多数のご出席をお願いします。



久次弘子教授

日時:令和2年12月12日(土)

14:00~15:30

場所:河内地域センター3F ホール(河内支所)

演題:「伝わっていますかあなたの気持ち わかっていますか相手の気持ち」

講師:広島国際大学 健康科学部 心理学科 久次弘子教授

青少年育成河内地区民会議・小田地域センター

市民協働のまちづくり夢トーク

12月12日開催

東広島市が作成する第五次東広島市総合計画に沿った自治協の今後の取り組みにおいて、地域別計画に沿った、市の役割や支援策を検討し、協働で「住みたい、働きたい、学びたいまち 東広島」の実現に向け挑戦するきっかけづくりを目的に開催されます。

市長と河内6地区の会長、副会長等が共通のテーマを「5年後の自治協」とし、個別での地域テーマを掲げ意見交換を行います。

日時：令和2年12月12日（土） 13:30～16:30 予定

場所：河内保健福祉センター 多目的室

にこにこ百歳体操

毎週水曜日

（12月9日/16日/23日ご案内）

年をとると、体力や筋力が落ちて介護が必要になるのは仕方がない」と思いませんか？ 筋肉は、いくつになっても鍛えることで筋力アップすることができます！
「百歳体操」で脳もからだも元気に！



とき：令和2年 12月9日/16日/23日
13:30～15:00

お気軽に参加ください

ところ：小田地域センター

※1月は、13日、20日、27日を予定しています。

にこにこ百歳体操・小田地域センター

しめ縄づくり教室 (12月20日ご案内)

恒例の「しめ縄づくり教室」を行います。

伝統のしめ縄のつくり方を学び、お正月は手作りのしめ縄を飾りましょう。

日時:令和2年12月20日(日)

9:00～

場所 小田地域センター(大ホール)

持ってきて頂く物 ハサミ

(わら、糸などを切る)

参加費 200円

参加申し込み 小田地域センター 電話438-0166

小田地域センター、(自)「共和の郷・おだ」白竜部

親善スローピッチソフトボール大会 11/8 報告

秋晴れのもと、西条チーム・竹原チーム・小田シルバーズの3チームで、交流試合をしました。珍プレー・好プレー、和気あいあいのうちにゲームは終了し、みんなでお弁当を食べながら交流を深めました。

(自)「共和の郷・おだ」体育健康部



農産物品評会(11月22日報告)

今回も地域センターで生涯学習発表会と
合わせ開催しました。

今年の出産者数は、昨年の34人から32人、
出品数は、138点から102点となり、年々減
少傾向にあります。コロナ禍で自粛ムードでは
ございますが、ご出品ありがとうございました。



審査員に、JA広島中央河内グリーンセンター所長 藤井様、貞徳様にて、
102点の審査をしていただきありがとうございました。
入賞者は、次のとおりです。

最優秀賞(3点)	坂井 潔(白菜)	廣田静夫(大根)	平賀京治(自然薯)
優秀賞(10点)	住田美奈子(カリフラワー)	廣田静夫(ブロッコリー)	大杉マキノ(キウイ)
	廣田静夫(人参)	石井敦子(黒大豆)	中川 稔(白ネギ)
	中川 稔(大根)	小早川綾子(ジャガイモ)	植木紀子(玉ねぎ)
	坂本忠日(白菜)		
特別賞(5点)	宅永照子(ヤマトイモ)	森原元夫(リーフレタス)	宅永英夫(ミニトマト)
	植木紀子(柿)	山脇健治(落花生)	

1等賞(15点)2等賞(20点)3等賞(30点)は紙面の関係で氏名を省略させて
いただきます。

最後に重量あてクイズ、農産物即売会で大変盛り上がりました。実行
委員会の皆様には、前日の準備、当日の集荷、陳列などご協力いた
だき心からお礼申し上げます。

(自)「共和の郷・おだ」農村振興部長 村上博富



出品野菜

第21回生涯学習発表会(11月22日報告)



今回は、農産物品評会に
合わせ開催しました。

コロナ禍で、規模を縮小し、
ステージ発表は中止し作品
展示のみ行いました。河内西
保育所園児、河内小学校児
童、河内中学校生徒の作品
展示や

藤岡さんを講師に小田写
真教室での作品 30 点など発表がされ、参加者は、目を奪われていました。

参加していただきました皆様には、ご協力をいただき本当に有難うございま
した。

(自)「共和の郷・おだ」文化教育部長谷平和則・小田地域センター



作品展示

地域おこし協力隊員 藤岡さん卒業報告会(11/22)



高垣市長

小田地区で3年間活動されてきた藤岡亜弥さんの卒業報告会が、生涯学習発表会&農産物品評会の会場で行われました。

高垣市長さんから、地域の皆様に、藤岡協力隊員の活動へのご理解ご協力をいただいたお礼と、地域の方の数多くの写真展示から当地区に、写真文化を根付かしたのではと述べられました。

また、地域を代表し、小早川正治会長、住原正弘 寄りん菜屋理事長、3の組石井敦子さんが、卒業にあたっての感謝の意を述べられました。

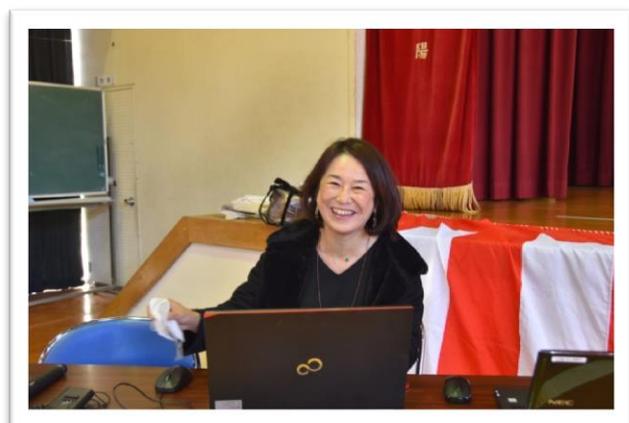
藤岡さんからは、3年を振り返り地域内の出来事を大型写真約50点の作品が発表され、地域の皆様へのお礼が述べられ、引き続き、小田を拠点に活動するとの挨拶がありました。

3年間の活動に対し、感謝申し上げます。

(自)「共和の郷・おだ」会長 小早川正治



石井敦子さん



卒業報告をする藤岡亜弥さん



地域センター長就任挨拶(12月1日)

この度、小田地域センター長の大役を仰せつかることになりました。よろしくお願い申し上げます。

歴任の先輩方におかれましては、長年にわたり自治会活動に関わってこられ、地域の発展に貢献されご尽力いただきました。その後をお引き受けするのは大変、身の引き締まる思いがいたしますが、お引き受けいたしました以上は地域の発展のため、一生懸命務めさせてまいる所存でございます。

近年の社会情勢、コロナ禍の影響で世の中が大きく変化しております。将来の地域づくりに禍根を経つため地域の皆様のご意見により適切な活動に努め、安全で安心、住みよい地域づくりに努めて参りたいと考えておりますので、地域の皆様、自治会役員、各種団体の皆様方のご指導とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小田地域センター長 末田 紘二

「通いの場」スマホ教室(11月18日報告)

NTTドコモ中国支社様のご協力により、

18日・25日の両日、21名の参加を得

て開催しました。

教室では、3名のスタッフの方が、丁寧に説明をしていただき、スマートフォンの使いこなしや楽しみ方など学習しました。

参加された方は、実際に体験し、機能の多さに、楽しみが増した様でした。

新型コロナウイルス禍の影響で外出を控える方も、使いこなすことで情報のやり取りなど新たな選択肢の1つになりそうです。

小田にこここ百歳体操・小田地域センター



ふれあいいいききサロン(11月24日報告)

今回のサロンは、お隣同士がいか
に大切かを、地域福祉を進める社協
職員の方々からお話しを受けました。

そして、たんぽぽさんの手作り弁当
を皆さんで美味しくいただきました。



サロンの様子

気軽に集えるサロンを今後も展開していきたいと思っておりますので、皆様のご
協力ご支援をよろしくお願い致します。

(自)「共和の郷・おだ」福祉ふれあい部長西村智基・
ボランティアグループたんぽぽ

河内小学校資源回収協力のお礼 11/28

皆様のご協力により、たくさんの資源
回収ができました。

ご協力ありがとうございました。



河内小学校小田地区役員 真谷夕貴

卒業のごあいさつ

「地域おこし」というものがなんなのかわからないまま、おどおどとこの土地に来たわけですが、わからないなりに駆け抜けているうちに、あっという間に3年が経ってしまいました。東京や海外での生活も長かった私が、この里山に引っ越して来て初めて経験することも多いと感じたのは、ここで初めてコミュニティに属しているという実感があったからだと思います。振り返ってみると、ここで地域おこしの仕事をしたという感覚はあまりなく、この里山で子供のように自由に遊ばせてもらったという気がしています。目の前の山に季節を感じる毎日が今でも新しく・、心豊かに暮らせたことはこの土地の力だと感じています。自分の専門である「写真」で地域おこしができるとは思っていませんでしたが、なんとなく引き受けた地域での写真教室で、あらためて写真の可能性を考えると同時に、地域づくりの本質について考える機会をもらうことになりました。アートの視点であらためて自分の住んでいる場所を見てみると、当たり前だった日常が劇的に変化していきます。一見価値がないと思われるものが、輝きはじめる。このことを地域のみんなと発見していく時間は、思いがけず楽しい時間でした。地域活性は、ビジネスを開拓したり移住者を増やしたりすることも重要な課題のひとつですが、実際に地域が元気だと言える状況は、そこに暮らす人がそこに住むことに誇りを持っていることではないかと思います。そこに地域づくりの本質があるとしたら、小田にはその素地がすでにあると思います。小田に誇りを持ち、小田をよりよくしようとしている人がたくさんいるからです。頼りない地域おこし協力隊でしたが、楽しい時間を過ごさせてもらい、かけがえのない3年を過ごすことができました。みなさんに心からお礼申し上げます。地域おこし協力隊は卒業しますが、これからも小田でお世話になることになりました。みなさんと一緒に自分の住む場所をよりいいところになりたいと思っていますので、これからもどうぞよろしくお願いします。

藤岡 亜弥

